

## 2年B組 英語科 単元設計・学習指導案

指導者 目崎 美香

1 日時（場所） 令和6年2月16日（金） 13:50～14:40（2年B組教室）

### 2 教科領域別研究テーマ

生徒が他者や社会との関係性の中で、自由に表現できる授業展開とメタ認知力を高めるための評価の工夫

### 3 研究テーマ設定の理由

多様なものの見方・考え方がある現代社会では、個性や考え方が異なる他者のことを理解し、意見交換などを通して積極的にコミュニケーションを図り、よりよい関係を築こうとする態度が求められる。外国語教育では、これらの能力を高めるために、スキルの習得だけでなく、スキルを生かし、互いの考えを理解し、折り合いを付けながらよりよい関係を築こうとする態度の育成を目指している。社会や他者と積極的に関わり、よりよい人間関係を築こうとする態度は、変化の激しい社会で生きていくために必要な資質・能力につながるものであると考える。

本研究では、英語を通して生徒自身に他者とよりよい関係を築いていこうとする力を身に付けさせるために、教師がそれをうまく発揮させる場面を授業の中で設定する。また、メタ認知力を高めるための振り返りを工夫する。そうすることによって、より広い世界を視野に入れた変革を起こす力を持った生徒の育成ができると考え、本研究テーマを設定した。

### 4 単元設計（単元名：Unit 7 World Heritage Sites）

#### (1) 単元目標

- 受け身（be 動詞＋過去分詞）を用いた文構造や意味を理解し、世界遺産の特徴や価値などについて伝え合うことができる。 「知識及び技能」
- 世界遺産の特別な価値を守るためにすべきことやできることについて、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。「思考力、判断力、表現力等」
- 世界遺産の特別な価値を守るためにすべきことやできることについて、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。 「学びに向かう力、人間性等」

#### (2) 単元の評価規準

| 知識・技能                                                  | 思考・判断・表現                                                          | 主体的に学習に取り組む態度                                                        |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 受け身（be 動詞＋過去分詞）を用いた文構造や意味を理解し、世界遺産の特徴や価値などについて伝え合っている。 | 世界遺産の特別な価値を守るためにすべきことやできることについて、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 | 世界遺産の特別な価値を守るためにすべきことやできることについて、学んだ文構造を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 |

#### (3) 指導計画（全 12 時間）

| 時間 | ねらい・学習活動                                                         | 重点 | 記録 | 評価規準（評価方法）                                 |
|----|------------------------------------------------------------------|----|----|--------------------------------------------|
| 1  | Unit7 扉/ Preview / 世界遺産<br>・扉や Preview のリスニングを通して、受け身の文構造に気付かせる。 | 知  |    | ・受け身（be 動詞＋過去分詞）の文構造に気付いている。<br>（ワークシート）   |
| 2  | ・受け身（be 動詞＋過去分詞＋【by】）の文構造を理解し、運用する。                              | 知  |    | ・受け身の文構造を理解し、適切に運用している。<br>（ワークシート）        |
| 3  | ・受け身（be 動詞＋過去分詞）を使った疑問文の文構造を理解し、運用する。                            | 知  |    | ・受け身を使った疑問文の文構造を理解し、適切に運用している。<br>（ワークシート） |
| 4  | ・受け身（助動詞＋be 動詞＋過去分詞）の文構造を理解し、運用する。                               | 知  |    | ・受け身の文構造を理解し、適切に運用している。<br>（ワークシート）        |

|          |                                                                                                          |             |             |                                                                                                                                                                  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5        | ・Scene①の内容理解を通して、世界遺産の認定基準について、自分の言葉で伝えることができるようにする。                                                     | 思           |             | ・本文内容の概要や要点を的確に理解して伝えている。<br>(ワークシート・タブレット)                                                                                                                      |
| 6        | ・Scene②の内容理解を通して、世界遺産には、固有の特色があることを説明できるようにする。                                                           | 思           |             | ・本文の内容から、世界遺産の特色について理解したことを自分の言葉で伝えている。<br>(ワークシート)                                                                                                              |
| 7        | ・Read and Think①の内容理解を通して、世界遺産を維持するためにできることを説明する。                                                        | 思           |             | ・本文の内容から、世界遺産を維持するためには、保護する必要があることを理解し、自分の言葉で伝えている。<br>(ワークシート)                                                                                                  |
| 8        | ・Read and Think②の内容理解を通して、自分の言葉で伝えることができるようにする。                                                          | 思           |             | ・本文内容を理解し、ピクチャーカードを使用しながら、英語で概要を説明している。<br>(ワークシート・タブレット)                                                                                                        |
| 9        | ・Unit Activity で自分の行きたい世界遺産について調べることを通して、その認定基準を紹介する。                                                    | 思           |             | ・世界遺産について資料を収集したり、自分の考えを英語で書いたりしている。<br>(観察・タブレット)                                                                                                               |
| 10       | ・世界遺産と認定したい基準を自分たちで考えることを通して、その特別な価値を再認識する。<br>・県内で自分が世界遺産に登録したい場所やものの資料を収集したり、作成したりすることを通して、自分の考えをまとめる。 | 態<br>思      | ○           | ・世界遺産基準を基に自分たちで選定基準を考え、その特別な価値について考えようとしている。<br>・自分が紹介したい世界遺産を文化・自然・複合のどの遺産で登録したいか考え、資料を収集したり、発表資料を作成したりしている。<br>(タブレット)<br>(支援)教科書の本文を交えながら表現することができるよう、声掛けをする。 |
| 11<br>本時 | ・県内で世界遺産に登録したい遺産を説明することを通して、保護するための課題に気づき、自分たちができることを伝える。                                                | 思           |             | ・自分の選んだ遺産に対して、課題やすべきことを考えて述べている。<br>(観察)                                                                                                                         |
| 12       | ・県内で世界遺産に登録したい遺産を紹介するパフォーマンス課題に取り組み、ALT と意見交換をすることを通して、愛媛の良さに気付くことができる。                                  | 知<br>思<br>態 | ○<br>○<br>○ | (パフォーマンス評価)                                                                                                                                                      |

#### (4) パフォーマンス課題

あなたは、日本で登録されている世界遺産について学習する上で、愛媛県で登録されている世界遺産がないことを知りました。そこで、愛媛県から世界遺産に登録できそうな遺産について調査し、存続する上での課題や自分ができることも含めて紹介しなさい。

## 5 本単元と研究主題との関わり

### (1) 生徒について

本学級の生徒（男子 16 名、女子 16 名）の約 8 割が、「英語が使えることで、仕事を選択する時の幅が広がる」、「グローバル化がさらに進み、英語を使うことが増えてくる」などの理由から、英語力を身に付けることが将来に役立つと答えている。また、英語の学習において身に付けたい力として、「相手とやり取りをしながら、会話を続けるコミュニケーション力」が多数挙げられていた。これまで帯活動として、生徒自身がテーマを設定し、ペアで 1 分間英会話を行ってきた。1 分間で話したい語彙数を設定し、目標を持って取り組んできたが、英語を習得する上で最も難しいと感じる領域も「話すこと【やりとり】」であった。その理由として、「英語を正確に使えているか分からない」、「英語を聞いてとっさに判断して話すことが難しい」、「相手に質問をされて、その質問に的確に答えることが難しく、自分の答えが適切なのか判断しづらい」などが挙げられていた。そこで、「相手とやり取りをしながら、会話を続けるコミュニケーション力」を高めるために指導の手立てを講じたい。

### (2) 単元について

本単元では、新出文型として、受け身を学習する。これまで学習してきた能動態の文型では、主語が動作を行う文章であったが、受け身の文を学習することによって、動作がおよぶ対象を主語に置き換えることができ、能動態とは違う視点から物事を紹介したり、説明したりすることができるようになる。そうすることによって、さらに表現の幅を広げることができる。

題材としては、世界遺産の特徴やその価値を紹介したり、保全における課題を説明したりする内容になっている。動作がおよぶ主語が世界遺産となるため、受け身の文構造を学ぶことに適していると考えられる。また、世界や日本の課題に目を向け、大切なものを守るために自分たちができることは何かを考え、自由に表現することにも適した単元となっている。

### (3) 指導について

本単元において、生徒が外国語による見方・考え方を働かせ、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、生徒のメタ認知力を高めることができるような指導を講じる。

#### ア 「話すこと」の力を向上させ、自由に表現するための ICT の効果的な利活用

VUCA 時代において、生徒の ICT 機器を活用するスキルは、一層重要性を増している。本実践では、言語教育の新たなアプローチとして、「AI 英会話」（AI とのインタラクティブな英会話練習）と、「AI 添削」を活用する。

「AI 英会話」とは、生成 AI が生徒の英会話練習のパートナーとし、生徒が選んだトピックに沿って英会話を行う。AI はネイティブスピーカーの中学生としてロールプレイを行い、会話終了後に文法やフレーズに関するフィードバックを提供する。以前は、ペアで 1 分間会話を続け、語彙数をお互いに数えていたが、会話の内容や、正確性までは把握できず、有効なフィードバックと言えなかった。しかし、AI を活用することによって、瞬時に適切なフィードバックが受けられる。本単元では、世界遺産について何度か英会話を試みる。生成 AI を活用したトレーニングを続けることを通して、生徒の「話すこと【やりとり】」の力を向上させる一助になることを期待する。

「AI 添削」は、音声入力で入力された英語スピーチを AI が分析し、添削すべき箇所とその理由を解説するシステムである。このシステムでは、スピーチの内容に基づいて英語力も評価される。また、家庭学習での活用も視野に入れており、生徒一人一人に合わせたフィードバックを提供することで、それぞれの生徒の弱点を効率的に改善することが可能になる。AI を活用することで、「話すこと【やりとり】【発表】」の力を実際に可視化し、生徒自身が客観的に振り返り、個別最適化の学習が実現でき、話す力の向上につながることを期待できる。

#### イ 他者との協働学習を通して自己の学びを調整する機会の設定

英語で話すことは、ダイレクトに相手の反応が返ってくるため、既存の知識を実際の場面に即して使用し、自分の英語表現を検証する自己分析の良い機会である。本単元では、登録したい遺産についてグループ内で発表する。グループ内で発表し、質問に答えたり、アドバイスをもらったりすることによって、個人では気付かなかった間違いや、言い換え表現に気付き、自分の英語表現をよりよく改善することを期待する。他者からの視点を生かし、自らの学びを調整する力を高めることが、エージェンシーを育成するためには必要であると考えられる。

## 6 本時の指導（11／12 時間）

(1) 主題 AI とのトレーニングを生かし、県内で世界遺産に登録したい遺産を紹介しよう。

(2) ねらい

○AI との英会話練習で培った力を生かし、県内で世界遺産に登録したい遺産に関する課題や、保全に対する意見を述べている。

(3) 展開

| 学習活動<br>(形態)                                                       | 時間 | ○教師の働きかけ ・ 予想される生徒の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ○指導の工夫<br>◎評価規準（評価方法）                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 Warm-up<br>(全体)                                                  | 5  | ○世界遺産の写真を見て、分かることを英語で話してみよう。<br>・ They are beautiful so I want to preserve them.<br>・ This is listed as a natural heritage site, because its nature is beautiful.<br>・ There are three types of World Heritage sites: natural, cultural and mixed.                                                                   | ○世界遺産に関してイメージを広げるために自由に発言させる。                                                                                                                  |
| Learning Theme: “This is the future World Heritage site in Ehime.” |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                |
| 2 自分の考えを深める。<br>(個人)                                               | 15 | ○グループに1台 chatGPT が入ったタブレットを準備し、一人は英会話に取り組んでみよう。後の三人は音声入力を使用し、自分のスピーチを添削してもらおう。<br>・ Hello, I’ m Maiko. I want to talk about World Heritage sites with you.                                                                                                                                                           | ○自分の意見や考えを深めるために、AI を活用する。                                                                                                                     |
| 3 登録したい遺産を紹介する。<br>(グループ)                                          | 25 | ○自分が選んだ遺産について紹介し、他の生徒からの質問に答えよう。<br>・ 写真等を見せながら、紹介する。<br>○グループ内で役割分担をし、話し合いを活性化させよう。<br>・ 司会者が話し合いを進め、他の生徒が質問する。<br>○全員が発表し終わったら、Feedback Sheet に記入し、自分の意見を伝えよう。<br>・ You spoke clearly. I understood your idea very well.<br>・ Your presentation was good. You used simple English. It was very easy to understand. | ○話題を深めるために、自分たちが選んだ遺産を保全するための課題やできることを表現させる。<br>○発表者の意見を引き出すために、質問を工夫するよう声掛けする。<br>◎三つの遺産の中でどの遺産に登録したいか、特徴や価値を相手に伝えるために、簡単な単語や短い英語で説明している。（観察） |
| 4 本時の学習内容を振り返る。<br>(全体)                                            | 5  | ○グループの発表の中で、参考になった英語表現について発表しよう。<br>・ 受け身や比較表現などの今までに学んだ文型をたくさん使っていた。<br>・ 遺産として登録したい理由がはっきりと伝わってきた。                                                                                                                                                                                                                 | ○振り返りを次時に生かせるように、授業を通して考えたことを発表するよう声掛けする。                                                                                                      |

## 7 研究の視点

○AI を活用した英会話や添削は、「話すこと【やりとり】や【発表】」における生徒のメタ認知力を高め、個別最適化な学習をする上で効果的であったか。